

## 2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111305			
科目番号 /Course Number	10160134			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の歴史 I : History of Kyoto I			
担当教員名 / Instructor(s)	/(横内 裕人)/他 : YOKOUCHI Hiroto/etc.			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	担当教員の一人は、文化庁において調査官として文化財や歴史文化の調査にあたった経験あり。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1240			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>京都は都となる以前を含めて長い年月をかけて形成されて今日に至っています。このような京都の歴史を原始時代から中世までの比較的古い時代について、多様な角度から考えます（必ずしも時代順ではなく、トピックによって時代が前後します）。この授業の目標として、基礎的な知識は身につけてほしいと思いますが、単なる物知りになるのではなく、京都というところが歴史的にどのような特徴をもっているのか、歴史学や考古学という学問を通して論理的に考えることを重視します。京都の地で学んだ者として、その歴史的特徴を正確に説明できるような社会人になってほしいと思っています。</p> <p>教員3人が5回ずつ担当する予定ですが、各担当者の取り上げる内容は次のとおりです。</p> <p>菱田：地中に眠る遺跡からも多くの情報が引き出されています。このような遺跡・遺物を扱う学問である考古学の成果から、京都の歴史について、とくに平安京以前を中心にお話しします。その中で都になる条件がどのように整えられていったかを見ていきます。</p> <p>鈴木：古代の京都について、平安遷都以降の歴史を中心に見ていきます。新たに生まれた平安京という都市やその周辺地域の様相を、空間・人・政治といったいくつかの視点から確認していきます。史料を読みながら、千年前の京都へ少しだけ近づいてみましょう。</p> <p>横内：中世京都は、古代平安京を基礎にしながら、荘園領主の集住する首都として成長しました。講義では、中世における都市</p>

	域・都市構造の変化に触れながら、京都に暮らす貴族・武家・商工業者・僧侶の社会生活、災害、住環境、祭祀などについて取り上げます。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	身近な遺跡の調査から (菱田)
	英		
2	日	第 2 回	京都のあけぼの (菱田)
	英		
3	日	第 3 回	秦氏の登場と京都盆地の開発 (菱田)
	英		
4	日	第 4 回	古代の寺院、官衙、交通路 (菱田)
	英		
5	日	第 5 回	丹後の古代・小括・小テスト (1) (菱田)
	英		
6	日	第 6 回	平安遷都と初期の平安京 (鈴木)
	英		
7	日	第 7 回	平安宮の政治空間 (鈴木)
	英		
8	日	第 8 回	都市に集まる人々 (鈴木)
	英		
9	日	第 9 回	変わる都市、変わる地域 (鈴木)
	英		
10	日	第 10 回	補足・小括・小テスト (2) (鈴木)
	英		
11	日	第 11 回	中世のはじまりと京都 (横内)
	英		
12	日	第 12 回	院政期京都に生きる人々 (横内)
	英		
13	日	第 13 回	『方丈記』に見る京都の災害 (横内)
	英		
14	日	第 14 回	室町・戦国時代の京都 (横内)
	英		
15	日	第 15 回	補足・小括・小テスト (3) (横内)
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	・京都の原始・古代・中世を中心に、興味をもった分野の文献を読んでおくこと。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容をまとめて整理しておき、上記文献も参考にして、興味をもった事柄を自分で深めてほしい。</li> <li>・可能ならば、授業に関係する「場」にみずから足を運んでみてください。</li> </ul> <p>本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。</p>
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	必要に応じてプリント配布。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	3回の小テストを合算。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	※教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位取得に必要な学修時間を確保する計画である。
英	